



### 健康ふれあいフェスタ2003

7月20日(日)「市保健センター」において、恒例の「健康ふれあいフェスタ2003」が開催されました。今年の夏は気温もあがらない毎日が続いていますが、当日はすっきりと晴れ上がり、まさにイベント日和。

当日の歯科医師は北大2保存の大先輩であります小森先生、そして私、さらに2名の歯科衛生士の4人で、歯科ドック(口臭テスト、RDテスト、咬合力測定)、それに保健指導を担当しました。午前10時の開場を待つように、小さなお子さんからお年寄りまでのたくさんの方が訪れました。会場は昨年度までと異なり少し狭くなりましたが、来訪者が口腔に関する疑問、悩みなどを気軽に聞けるような雰囲気健診、そして指導を行うように努めました。

隣の会場では焼き鳥やかき氷、餃子などの縁日コーナーも併設されており、たまにビールを飲ん

だ勢いでいらっしゃる方もおりましたが、殆どの方は得られた検査結果と、それに基づいた個々の口腔内のアドバイスに熱心に聞き入り、時間帯によっては4人でも大忙しな時もありました。私個人的には検査に追われてしまい、もう少し来場者の方それぞれに細かいアドバイスをできる時間、余裕があればよかったのにと考えております。この辺については来年以降の課題でしょうか。

終わってみると3連休の谷間の影響もあったのか検査を受けられた方の数は例年より少ない数でしたが、内容的には充実していた1日であったことは間違いありません。

途中、休日にもかかわらず応援に駆け付けてくださった宝崎会長、桜田さん、そして会場準備など終日手伝ってくださった事務の近藤さん、さらには小森先生のお嬢さんにもお手伝いいただき本当にありがとうございました。

最後になりましたが、小森先生、担当衛生士さん、そして美唄市のスタッフの皆さんお疲れさまでした。来年以降もより一層地元に着するイベントであることを期待しています。

(滑川貴彦記)



## 図画・ポスターコンクール

7月25日(日)午後1時より美唄市教育委員会教育委員室において、「北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の第一次審査会が宝崎会長、茶志内中学校校長、教育長、教育部長、学務課長、指導主事、青少年センター所長そして私

の8人の審査委員で行われました。

昨年の北海道知事賞およびSTV賞受賞と、春の歯科健診時に各学校歯科医の先生に受け持ちの学校の校長先生に出品をお願いしていただいたことなどが功を奏したと思うのですが、今年は昨年のおよそ倍の68名63作品の応募があり、これらの作品が壁一面に張られている様子は、なかなか圧巻でした。

審査は子供たちの明るく元気な絵の前で和やかに進められましたが、どれも甲乙つけがたく、皆さん頭を悩ませている場面もありました。結局一度では決まらず、図画・ポスター共に決選投票を行いなんとか10人の入選作品を決定することができました。皆さんお疲れ様でした。

コンクールを通して少しでも多くの子供たちに歯・口腔に関心を持ってもらい、絵のように明るく元気に育ってもらえればと願っております。

最後に教育委員会学務課の村谷さんのご尽力にこの場を借りて感謝いたします。

(平 和隆記)



## 早々と招かれざる客が

今年は冷いオホーツク海高気圧の力が強くて、太平洋高気圧を圧倒して、いつまでも梅雨前線が本州を覆い随分と長々と梅雨が空けないうちに、超大型の台風10号が例年より1ヶ月も早く日本列島におとずれた。梅雨が上ってないせいか、大型の雨台風となって日本列島を縦断した。梅雨で地盤のゆるんだ所へ速度の遅い台風が猛威を振り、

地震の被害の復旧を見ていない東北地方を縦断して、台風には比較的縁のうすい本道にまで珍しい程の被害をもたらした。河川の氾濫も多く、水害による人的犠牲としては4名死亡、行方不明7名を数え、28年前の台風6号の死者9名行方不明者2名以来の惨事となった。

災害は忘れた頃に、やって来るものか。道のまともによると床上浸水74棟、床下浸水185棟、ピーク時には全道で2千8百世帯、6千6百人に避難勧告が出されたとかで、JRや空・海の便も一時まひ状態に陥ったとのことであった。政治情勢の不安な時には古来から、天変地異が多く現れるもの、といわれるが？

(雨田 実記)